



「東日本大震災」支援・横軸連携

平成24・25年度支援事業

わらび座公演「走れメロス」今年度も10会場で開催

昨年度から沿岸被災地区の中学校を対象とした、全日中義援金等活用事業である『わらび座公演「走れメロス」』が今年度も一学期中に10会場で行われ、二年間の事業として全被災校（27校）で実施できた。

6月25日に宮古市立田老第一中学校体育館で行われた公演には、中村雅英会長と小岩和彦総務部長、松井端巧広報部長が参加をし、公演に先立ち中村会長から全校生徒に激励の言葉が伝えられた。

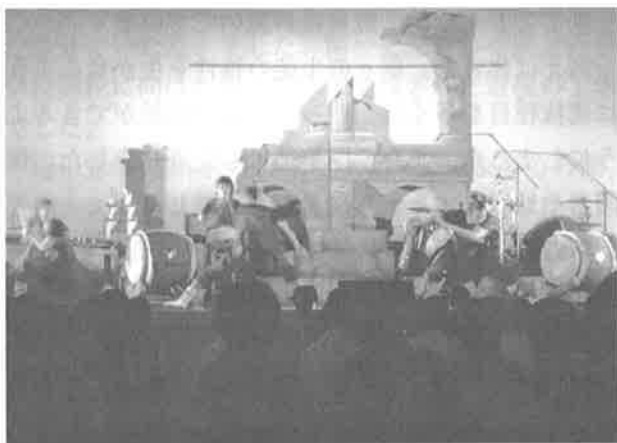


わらび座「パフォーマンスバンド・響」のメンバーの演奏が始まると、生徒はステージで繰り広げられる迫力ある「和太鼓」「打楽器」「管楽器」をはじめとする沢山の楽器の響きに引き込まれていった。

およそ一時間半の演奏があっという間に感じられ、終演の際は生徒から感謝の大きな拍手が送られた。



アンコールでは、田老第一中学校に贈られた二張りの「絆・復興太鼓」を出演メンバーが力強く演奏し、感動の響きが生徒の心を震わせていた。



最後には、演奏メンバーも入り全員で「絆・復興太鼓」を囲み、一緒に記念撮影をするなど交流も行われ、素晴らしい時間を過ごすことができた。



公演を終えた生徒からは「太鼓の響きに感動した」「走れメロスの物語がこんな演奏で表現できるなんてすごい」「素晴らしい演奏に元気づけられました」等々の感想が聞かれた。

2年間にわたり沿岸各地で感動の公演をしていただいた「わらび座」と「パフォーマンスバンド・響」の皆さまに感謝します。